

平成27年度 決算書

年金経理

財産目録	1頁
貸借対照表	2頁
損益計算書	3頁
不足金処分計算書	4頁

業務経理

業務会計

財産目録	5頁
貸借対照表	6頁
損益計算書	7頁
剰余金処分計算書	8頁

貸借対照表及び損益計算書における重要な会計方針等

9頁

石炭鉱業年金基金

(年金経理) 財 産 目 録

平成28年3月31日 現在

(単位:円)

摘 要	内 訳	金 額
<u>資 産 の 部</u>		
1) 流 動 資 産	711,663,013	
現金及び預金	668,803,338	
未 収 金	2,508,776	
未 収 収 益	40,847,405	
貸 倒 引 当 金	△ 496,506	
2) 投 資	13,558,085,131	
貸付信託	0	
特定金銭信託	3,197,566,734	
指定金銭信託	279,529,724	
有価証券	10,080,988,673	
資 産 合 計		14,269,748,144
<u>負債・基本金の部</u>		
1) 流 動 負 債	311,831	
未 払 金	311,831	
預 り 金	0	
2) 支 払 準 備 金	131,319,000	
3) 責 任 準 備 金	7,752,831,000	
4) 投 資 資 産 評 価 調 整 額	10,135,410	
5) 基 本 金	6,375,150,903	
別 途 積 立 金	6,375,150,903	
負 債 ・ 基 本 金 合 計		14,269,748,144

(年金經理) 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

借方				貸方			
勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算	勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算
流動資産	711,663,013	424,340,606	287,322,407	流動負債	311,831	38,492	273,339
現金	0	0	0	未払金	311,831	38,492	273,339
当座預金	0	0	0	預り金	0	0	0
普通預金	668,799,730	423,655,635	245,144,095				
通知預金	0	0	0				
定期預金	0	0	0				
郵便振替貯金	3,608	△ 33,504	37,112	支払準備金	131,319,000	△ 8,299,000	139,618,000
未収金	2,508,776	△ 182,634	2,691,410	支払準備金	131,319,000	△ 8,299,000	139,618,000
貸倒引当金	△ 496,506	△ 13,797	△ 482,709	責任準備金	7,752,831,000	△ 460,182,000	8,213,013,000
計	2,012,270	△ 196,431	2,208,701	責任準備金	7,752,831,000	△ 460,182,000	8,213,013,000
前払費用	0	0	0				
未収収益	40,847,405	914,906	39,932,499				
投資	13,558,085,131	△ 1,430,444,458	14,988,529,589	投資資産評価調整額	10,135,410	11,739,410	△ 1,604,000
貸付信託	0	0	0	投資資産評価調整額	10,135,410	11,739,410	△ 1,604,000
特定金銭信託	3,197,566,734	△ 334,610,070	3,532,176,804				
指定金銭信託	279,529,724	896,980	278,632,744				
有価証券	10,080,988,673	△ 1,096,731,368	11,177,720,041				
				基金	6,375,150,903	△ 549,400,754	6,924,551,657
				別途積立金	6,924,551,657	859,087,345	6,065,464,312
				当期剰余金	0	△ 859,087,345	859,087,345
				当期不足金	△ 549,400,754	△ 549,400,754	0
合計	14,269,748,144	△ 1,006,103,852	15,275,851,996	合計	14,269,748,144	△ 1,006,103,852	15,275,851,996

(年金経理) 損益計算書

(自平成27年4月1日～至平成28年3月31日)

(単位：円)

借方				貸方			
勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算	勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算
事業支出	787,911,200	△ 49,791,050	837,702,250	事業収入	774,816	△ 1,062,801,138	1,063,575,954
年金給付	786,906,600	△ 48,961,250	835,867,850	掛入金	774,816	29,256	745,560
死亡一時金給付	473,000	165,000	308,000	利息及び配当金	0	△ 1,062,830,394	1,062,830,394
脱退一時金給付	531,600	△ 994,800	1,526,400	雑収入	0	0	0
繰入金	66,387,580	△ 852,679	67,240,259				
業務会計へ繰入	66,387,580	△ 852,679	67,240,259				
福社会計へ繰入	0	0	0				
事業外支出	164,357,790	164,118,690	239,100	事業外収入	0	0	0
貸倒引当金繰入額	238,788	△ 312	239,100	雑収入	0	0	0
投資資産評価損	164,119,002	164,119,002	0				
雑支出	0	0	0				
支払準備金	131,319,000	△ 8,299,000	139,618,000	支払準備金	139,618,000	△ 7,711,000	147,329,000
当期末支払準備金	131,319,000	△ 8,299,000	139,618,000	前期末支払準備金	139,618,000	△ 7,711,000	147,329,000
責任準備金	7,752,831,000	△ 460,182,000	8,213,013,000	責任準備金	8,213,013,000	△ 692,982,000	8,905,995,000
当期末責任準備金	7,752,831,000	△ 460,182,000	8,213,013,000	前期末責任準備金	8,213,013,000	△ 692,982,000	8,905,995,000
剰余金	0	△ 859,087,345	859,087,345	不足金	549,400,754	549,400,754	0
当期剰余金	0	△ 859,087,345	859,087,345	当期不足金	549,400,754	549,400,754	0
合計	8,902,806,570	△ 1,214,093,384	10,116,899,954	合計	8,902,806,570	△ 1,214,093,384	10,116,899,954

(年金経理) 不足金処分計算書

平成28年3月31日

(単位 : 円)

1) 当年度未処分不足金	549,400,754
2) 当年度処分量	549,400,754
別途積立金取崩	549,400,754

(業務会計) 財 産 目 録

平成28年3月31日 現在

(単位:円)

摘 要	内 訳	金 額
<u>資 産 の 部</u>		
1) <u>流 動 資 産</u>	8,762,565	
現金及び預金	7,660,839	
保管有価証券	0	
未収金	0	
前払費用	1,101,726	
未収収益	0	
2) <u>固 定 資 産</u>	18,120,182	
器具及び備品	4,063,336	
減価償却累計額	△ 3,051,354	
電話加入権	133,200	
敷金保証金	16,975,000	
資 産 合 計		26,882,747
<u>負債・基本金の部</u>		
1) <u>流 動 負 債</u>	599,911	
未払金	10,440	
未払費用	343,282	
預り金	246,189	
2) <u>引 当 金</u>	5,111,300	
退職給与引当金	5,111,300	
3) <u>基 本 金</u>	21,171,536	
基本金	21,171,536	
負債・基本金合計		26,882,747

(業務会計) 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

借方				貸方			
勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算	勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算
流動資産	8,762,565	1,365,012	7,397,553	流動負債	599,911	△135,007	734,918
現金	0	0	0	借入金	0	0	0
当座預金	0	0	0	未払金	10,440	619	9,821
普通預金	7,657,825	1,284,560	6,373,265	未払費用	343,282	△38,828	382,110
普通通知預金	0	0	0	預り金	246,189	△96,798	342,987
定期預金	0	0	0				
郵便振替貯金	3,014	136	2,878				
保管有価証券	0	0	0				
未収金	0	0	0				
貸倒引当金	0	0	0	引当金	5,111,300	1,237,700	3,873,600
計	0	0	0	退職給与引当金	5,111,300	1,237,700	3,873,600
前払費用	1,101,726	80,316	1,021,410				
未収収益	0	0	0				
固定資産	18,120,182	△262,319	18,382,501				
器具及び備品	4,063,336	0	4,063,336				
減価償却累計額	△3,051,354	△262,319	△2,789,035				
計	1,011,982	△262,319	1,274,301				
電話加入権	133,200	0	133,200	基金	21,171,536	0	21,171,536
敷金保証金	16,975,000	0	16,975,000	基本基金	21,171,536	0	21,171,536
				繰越剰余金	0	0	0
				当期剰余金	0	0	0
合計	26,882,747	1,102,693	25,780,054	合計	26,882,747	1,102,693	25,780,054

(業務会計) 損益計算書

(自平成27年4月1日～至平成28年3月31日)

(単位：円)

借方				貸方			
勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算	勘定科目	平成27年度 決算	増減	平成26年度 決算
事業支出	66,387,580	△ 852,679	67,240,259	事業収入	0	0	0
人件費	36,048,502	518,930	35,529,572	掛国庫補助金	0	0	0
役員報酬	7,399,840	0	7,399,840	利息及び配当金	0	0	0
職員給与	22,827,215	682,303	22,144,912	雑収入	0	0	0
福利厚生費	5,821,447	△ 163,373	5,984,820				
物件費	30,339,078	△ 1,371,609	31,710,687	受入金	66,387,580	△ 852,679	67,240,259
旅費	630,920	△ 45,880	676,800	年金経理からの受入金	66,387,580	△ 852,679	67,240,259
事務費	5,821,810	△ 292,787	6,114,597				
減価償却費	262,319	0	262,319				
賃借料	13,757,218	211,701	13,545,517				
修繕費	0	0	0				
光熱水料	347,681	△ 9,194	356,875				
委託費	5,851,774	△ 549,912	6,401,686				
諸謝金	3,062,040	14,040	3,048,000				
租税	74,680	△ 13,570	88,250				
交際費	68,040	△ 26,760	94,800				
会議費	43,000	△ 6,950	49,950				
雑役務費	16,200	△ 1,836	18,036				
雑収入	259,200	△ 658,800	918,000				
雑費	0	0	0				
	144,196	8,339	135,857				
事業外支出	0	0	0	事業外収入	0	0	0
貸倒引当金繰入額	0	0	0	雑収入	0	0	0
財産処分損	0	0	0				
雑支出	0	0	0	不足金	0	0	0
				当期不足金	0	0	0
合計	66,387,580	△ 852,679	67,240,259	合計	66,387,580	△ 852,679	67,240,259

(業務会計) 剰余金処分計算書

平成28年5月26日

(単位 : 円)

1) 当年度未処分剰余金	0
2) 当年度処分額	0
翌年度へ繰越	0

貸借対照表及び損益計算書における重要な会計方針等

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法

その他有価証券

時価のあるもの…期末日の市場価格に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの…移動平均法に基づく原価法

(2) 特定金銭信託及び指定金銭信託の評価方法

売買目的有価証券……期末日の市場価格に基づく時価法

(売却原価は移動平均法により算定)

その他有価証券……期末日の市場価格に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

(3) 固定資産の減価償却方法

法人税法の耐用年数を採用し、定額法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

掛金の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

②退職給与引当金

役職員の退職金の支給に備えるため、期末要支給額の全額を計上している。

(5) その他財務諸表作成のための重要な事項

消費税の会計処理方法

税込方式によっている。